

メンタルヘルスケア論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

精神の健康を保つために、地域生活や学校、企業などにおいてどのような関係性のあり方が望ましいのかをメンタルヘルスケアの視点から理解する。特に発達と病理、精神と身体および集団と社会のダイナミクス等精神の健康を脅かす事象に対して対処できる方法について学ぶ。対人援助職の適切な感情の創出と、不適切な感情について学ぶ。特に「感情規則」や「感情管理」のあり方と問題点を明らかにし、対人援助職としての基本的な能力を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

医療活動のなかでは医師など多職種や、患者や家族とのかかわりのなかでさまざまな人間関係が生じ、これらは看護職としての自らを苦しめ悩ませることがある。この体験は看護に必ずともなうもので避けられない。しかしこの体験は看護師としての成長に必要な関係性であり、互いの体験の重ね合わせ、折り合わせながら検討し、よりよいケアにつなげていくセルフケア力を身につける。そのため看護職に特有なメンタルヘルスの問題を探求することを通して、具体的に対処するための方法について学び活用することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 看護職のメンタルヘルスに影響を及ぼす社会的な状況、関係性について理解し、説明できる。
2. 感情労働やうつ、バーンアウトなど、メンタルヘルス上の具体的課題を見出すことができる。
3. メンタルヘルス上の問題について他者を観察する能力と関係性のアセスメント力を高める。
4. リフレクション、リフレクティングの概念やリエゾン精神専門看護師の役割といったメンタルヘルス上の問題に対処するための方法や制度について理解し、メンタルヘルス上の問題をもつ対象への支援に関心をもつことができる。
5. メンタルヘルスについてグループワークを通して学生同士で共に学びあい、成長し合う姿勢をもつことができる。

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/10	木	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	<p>看護職のメンタルヘルス 1 集団のダイナミクス 教科書「精神看護学 [1] 第 4 章 B③」</p> <p>・ 自身の体験を振り返り、集団の中の自己について考察できる</p> <p>事前学修： [30 分] これまでの実習で精神的に疲れた体験について振り返り、A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修： [30 分] 配布資料を読み疑問点があれば抽出しておく</p>
6/17	木	3	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>看護職のメンタルヘルス 2 患者との関わり：そばにいること、遊ぶこと 教科書「精神看護学 [2] 第 7 章」</p> <p>・ 言語を介さない患者への接近方法として、そばにいること、遊ぶことの意味を考察できる</p> <p>事前学修： [30 分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修： [30 分] 配布資料を読み返して復習する</p>

6/24	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>感情労働としての看護 1 感情と看護 教科書「精神看護学 [2] 終章」</p> <p>・看護には感情労働としての側面があることを理解できる</p> <p>事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を事前に読み、要旨をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する</p>
6/29	火	3	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>感情労働としての看護 2</p> <p>・感情労働の代償と対処する方法について理解できる</p> <p>事前学修：[30分] 感情労働に関する自己の体験を振り返り、A4用紙1枚に記述する。 事後学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 終章」を再読し、リフレクションペーパーを作成する</p>
7/1	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>看護とリフレクション 1</p> <p>・感情を言語化し、表現することの意味を理解できる</p> <p>事前学修：[30分] 教科書「精神看護学[2]終章F2」を読み、グループワークのテーマを考える 事後学修：[30分] 配布資料を読み返す</p>

7/6	火	3	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>看護とリフレクション 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情を言語化し、表現する体験を通して、自分の感じたことを考察できる <p>事前学修：[30分] 実習で気がかりな場面や出来事を A4 用紙 1 枚にまとめておく 事後学修：[30分] 討議で気づいたことをまとめ、リフレクションペーパーを作成する</p>
7/8	木	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授	<p>精神専門看護師の役割 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神専門看護師（狭義・リエゾン）の役割について理解できる <p>事前学修：[30分] 教科書「精神看護学〔2〕14章」を読んでおく 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく</p>
7/13	火	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>精神専門看護師の役割 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨地実習の経験に基づき、精神看護師（狭義・リエゾン）が活躍できる場면을想定できる <p>事前学修：[30分] 前回の授業での疑問点や感想を整理しておく 事後学修：[30分] 今日の討論の内容を振り返り、リフレクションペーパーを作成する</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018

参	「感情と看護」第1版	武井麻子著	医学書院	2001
---	------------	-------	------	------

・成績評価方法

1. 講義への参加態度や講義内容の到達度の評価として、事前事後のレポート課題を適時実施する。
2. 事前学習の達成度の経過を Portfolio の完成度として評価する。
3. 定期試験時は、筆記試験をおこなう（多肢選択と記述式）。
4. 定期試験 70%と Portfolio 評価（完成度と活用度の評価）30%の合計 100%にて評価をする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前、事後学修は指定された教科書を用いてまとめた上で授業に臨むこと。各回最低 30 分以上を要する。また、授業中に配布、映写するパワーポイント資料は Webclass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修し、教員に確認すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・事前、事後学修は、各自で教科書、資料を用いて内容を復習する。学生の疑問は積極的に提示すること。教員はその提示に伴って対応する。
- ・提出されたレポートについては、コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

【その他】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設け、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影